

2013年前期  
【受講生募集】

# シティカレッジ

シティカレッジは、県内の大学や短期大学、一般社団法人教育ネットワーク中国と広島市、財団法人広島市未来都市創造財団が連携して、大学などが持つ優れた研究・教育機能を市民生活に生かすことを目的に、社会人の皆様に学習機会を提供しています。日常の暮らしに生涯学習の時間を取り入れてみてはいかがでしょうか。（シティカレッジは、一般社団法人教育ネットワーク中国、広島県教育委員会、広島市、財団法人広島市未来都市創造財団及び加盟大学で実施する「ひろしまカレッジ」としても一部実施しています。）

主催

一般社団法人教育ネットワーク中国、広島市、財団法人広島市未来都市創造財団、安田女子大学、日本赤十字広島看護大学、広島大学、広島女学院大学、広島国際学院大学、広島国際大学、広島文教女子大学

会場

広島市まちづくり市民交流プラザ（広島市中区袋町6番36号）

## 安田女子大学

ひろしまカレッジ

受講証

申込開始日	定員	60名	対象	高校生、大学生、社会人
4月15日	受講料	無料	会場	研修室C

### 時空をこえた〈こころ〉と〈ことば〉

私たちは現代日本に生きていますが、過去の時代に生きた人々や遠くの世界で生きている人々とも、〈ことば〉を通じて〈こころ〉を通い合わせ、その結果、物理的にも精神的にもより豊かな生活を送ることができます。しかし、昔の人々や異国の人々の〈ことば〉は私たちに難しく、やっとの思いで彼らの〈ことば〉を理解し、その〈こころ〉に触れたときの喜びを味わうこともあれば、逆にその〈こころ〉が理解できず、更に戸惑うこともあります。本講座は現代日本語とは異なる様々な〈ことば〉に向き合い、考えることの大切さ、そして現代日本人とは異なる様々な人々の〈こころ〉に思いを巡らすことの面白さを実感して頂く講座です。

#### ① 5月25日(土) 〈10:00~12:00〉 教授 古瀬 雅義

■「枕草子」の〈こころ〉と〈ことば〉 —清少納言からのメッセージ  
今から千年前、日本ではすでにキャリアウーマンたちが活躍していました。清少納言もその一人です。傾きつつある勤め先の屋台骨を支えつつ、必至に勤めながら、その様子を『枕草子』に書きました。これは当時のOLが書いたブログです。現代に生きる私たちは、ここから何が読みとれるか、じっくり耳を傾けてみましょう。

#### ② 6月1日(土) 〈10:00~12:00〉 准教授 宮岸 哲也

■ 伝わる心と伝わらない心  
—スリランカ絵本の原本と日本語訳本に見る翻訳の問題—

スリランカの絵本作家シビル・ウェッタシンハの作品は、スリランカの風土や人々の考え方が独特な画風で描かれています。その日本語訳により私たちは彼女の世界に引き込まれますが、原本を読んでみるとそこには越えがたい両国の文化の違いにも気づかされます。スリランカの言葉にも触れながら翻訳の可能性と限界を考えます。

#### ③ 6月8日(土) 〈10:00~12:00〉 准教授 川岸 克己

■ 変わらない言葉と変わりゆく言葉

日本語の言葉には、一千年の時の流れのなかにも変わらない言葉があります。逆に、時代の変化に伴って変わりゆく言葉もあります。実は、この変わりゆく言葉にこそ、日本人の変わらない〈こころ〉が秘められているのです。変わりゆく言葉と変わらない言葉の線なす日本語の〈こころ〉についてお話しします。

#### ④ 6月15日(土) 〈10:00~12:00〉 准教授 内田 誠一

■ 見ぬ世の人を友として  
—歴代名家の短冊・色紙の読解と鑑賞—

室町から昭和に至る歴代名家の短冊と色紙に書かれた和歌・俳句・漢詩を読み解きます。そして、短冊の中から一、二枚選び、鉛筆や筆ペンなどで臨書していただきます（お好みの筆記具をご持参のこと）。最後に、歴代名家肉筆を鑑賞し、短冊と色紙に書かれた文学作品を通して、むかしの人々の〈こころ〉と〈ことば〉に触れていただきます。

#### ⑤ 6月22日(土) 〈10:00~12:00〉 講師 高木 久史

■ 中世びとはどんな夢を見てきたか

睡眠中に見る、私たちにとつてもう一つの世界。フロイトいわく「夢は願望の充足である」。鎌倉時代・室町時代の人々が見た夢はしばしば日記に書き残されています。そこには中世びとのさまざまな願望が象徴的に現れています。立身出世？商売繁盛？悟りへの渴望？日本中世の夢日記から、当時の人々の心性の特徴を探ります。

# 日本赤十字広島看護大学

ひろしまカレッジ

受講証

申込開始日	定員	50名	対象	社会人
5月1日	受講料	無料	会場	研修室C

## がんを知って、がんと共に生きる

がんは、1981年以降死亡原因の第1位であり、長寿化とともに増加傾向です。がんは、早期診断や治療により死亡率は減少傾向にあり、がんは不治の病から「がんとともに生きる」時代になってきました。本学大学院では「がん看護専門看護師課程」を開設し、がんとともに生きる意味やその人らしい生活支援を探索しています。一緒に「がんとともに生きる」ことを考えてみませんか？

### ① 6月6日(木) <18:00~19:30> 教授 植田喜久子

#### ■ がんと言われたら

多くの方は、がんと言われた時に「頭は真っ白になった」と言われます。しかし、適切な情報を得て、治療法を決定することが必要です。がんとともに生きるために必要なことを一緒に考えていきたいと思います。

### ③ 6月20日(木) <18:00~19:30> 教授 植田喜久子

#### ■ がんのリハビリテーション

##### ーがん治療後のリンパ浮腫と上手につきあうためにー

がん患者のリハビリテーションの目的は、治療による身体への影響と上手につき合いながら、自分らしく生きる力を発揮することです。具体的には、乳がん・婦人科がんの治療後に発症するリンパ浮腫のケアについてご紹介します。

### ② 6月13日(木) <18:00~19:30> 准教授 岡田 淳子

#### ■ がん患者の家族として病いにどのように向き合うか？

「がん」という言葉から何をイメージしますか？命、身体、生活、家族、治療、費用、仕事、趣味ってどうなるのでしょうか。がんと向き合い、付き合い、がんに勝る自分の力を信じることから始まります。

### ④ 6月27日(木) <18:00~19:30> 教授 中信利恵子

#### ■ 緩和ケアはいつでも受けられる

緩和ケアという言葉をご存知でしょうか。緩和ケアは、「全人的苦痛」をやわらげ、患者さんやそのご家族が自分らしい生活をおくるための医療や看護です。緩和ケアとはどのようなケアなのかを学んでいきます。

# 広島大学

申込開始日	定員	40名	対象	高校生、大学生、社会人
5月1日	受講料	無料	会場	研修室C

## 経済開発と国際協力

途上国が直面する経済開発課題に対処するためには、経済学を中心とした学際的な政策研究が不可欠です。本講座では全8回にわたって、経済開発を推し進めるための様々な視点と方法について考えます。

### ① 6月8日(土) <13:30~15:00> 教授 吉田雄一郎

#### ■ 健やかな経済発展のための公共政策のあり方

経済開発を促進するための公共政策のあり方やその課題について、経済学に基づきつつ、わかりやすく解説を行います。

### ⑤ 6月22日(土) <13:30~15:00> 教授 石田 三樹

#### ■ 日本経済発展の道のり(1)

江戸時代からの準備過程にも焦点をあてながら、日本経済が発展を遂げた理由を探り、現状を考えます。外国人向けに作成された英語ビデオを鑑賞し、これに解説を加えつつ授業を進める予定です。

### ② 6月8日(土) <15:20~16:50> 准教授 後藤 大策

#### ■ 経済開発のための経済実験

途上国が抱える様々な開発課題に対する解を探るために、多くの経済実験が行われています。いくつかの経済実験例を紹介しながら、そこから得られた最新の知見について解説します。

### ⑥ 6月22日(土) <15:20~16:50> 教授 石田 三樹

#### ■ 日本経済発展の道のり(2)

江戸時代からの準備過程にも焦点をあてながら、日本経済が発展を遂げた理由を探り、現状を考えます。外国人向けに作成された英語ビデオを鑑賞し、これに解説を加えつつ授業を進める予定です。

### ③ 6月15日(土) <13:30~15:00> 准教授 伊藤 高弘

#### ■ 経済開発における政府の役割(1)

一国の経済開発において政府が果たす役割は非常に重要です。最初に政策とガバナンスという二つの側面から政府が陥る失敗について学び、次に政策やガバナンスの質を改善する方途について学習します。

### ⑦ 6月29日(土) <13:30~15:00> 助教 伊藤 豊

#### ■ 環境対策における社会的責任の重要性について

環境問題の緩和、解決を目的とした様々な取組みが産学官で行われています。その中の1つとして企業の社会的責任への対応について解説します。企業の取組みの事例を挙げ、それを促す目的としての金融の役割についても講義します。

### ④ 6月15日(土) <15:20~16:50> 准教授 伊藤 高弘

#### ■ 経済開発における政府の役割(2)

一国の経済開発において政府が果たす役割は非常に重要です。最初に政策とガバナンスという二つの側面から政府が陥る失敗について学び、次に政策やガバナンスの質を改善する方途について学習します。

### ⑧ 6月29日(土) <15:20~16:50> 准教授 高橋 与志

#### ■ 経済開発における企業の役割

アジア諸国の製造業を中心的な事例として、経済開発の過程で企業が果たしてきた役割について講義します。とりわけ日系をはじめ外資系企業による企業内外への知識・技術移転の現状と課題に焦点を当てます。

ひろしまカレッジ 受講証 は、講座申込や出欠確認に受講証を利用できる講座のことです。

→詳しくは、ホームページ(「ひろしまカレッジ」で検索)をご覧ください。教育ネットワーク中国(TEL 082-533-7591)までご連絡をお願いいたします。

# 広島女学院大学

ひろしまカレッジ

受講証

申込開始日	定員 50名	対象 大学生、社会人
6月3日	受講料 無料	会場 研修室C

## 「私」の中の「子ども」

「子ども」をキーワードに、心理学・教育学・芸術の世界を探索しましょう。忘れていた「子ども」のころのこと、大人の心の中にある「子ども」のこと、過去の「子ども」、今の「子ども」、未来の「子ども」について考えます。

### ① 7月4日(木) <18:00~19:30> 准教授 中村 勝美

#### ■ 歴史の中の子ども

現代では、少子化や家族・地域社会の変容など子どもを取り巻く環境の変化が、子どもの健全な発達を阻害し、子育てに悩む親を生み出すと考えられています。伝統的子育てを懐かしむ声がありますが、本当に昔の子育ては良いことばかりだったのでしょうか。本講座では、子どもという存在を歴史のなかで相対化し、現代の子ども問題に迫ります。

### ② 7月11日(木) <18:00~19:30> 准教授 高橋 均

#### ■ 子どもの自己表現力を育む心理学

他者に対する配慮の乏しい自己表現をする子どもの問題が取り沙汰されています。本講座では、なぜ今、自己表現の教育が必要になっているのか、子どもの適切な自己表現力を育むためにどのような取り組みをしていけばよいかについて考えていきます。

### ③ 7月18日(木) <18:00~19:30> 准教授 神野 正喜

#### ■ 教科書作品の中の子ども

国語教科書の収録作品は、児童・生徒が読者であることを前提に選ばれます。そのため、作中の人物が読者の年齢に近いことが少なくありません。今回は、小学校国語教科書の物語文を対象にして、そこに「子ども」がどう描かれているのかを具体的に見ていきます。

### ④ 7月25日(木) <18:00~19:30> 准教授 戸田 浩暢

#### ■ 子どもたちへのキャリア教育が求められる背景

今日、小学校・中学校・高等学校の児童・生徒に対してキャリア教育を実施することが求められています。なぜ、キャリア教育を学校現場で実施するようになったのかを概観します。

### ⑤ 8月1日(木) <18:00~19:30> 教授 山下 京子

#### ■ 無意識の心理学

芸術療法を取り入れて、「私」のこころの奥深くに眠っている「子ども」のこころの声を聴きます。

# 広島国際学院大学

ひろしまカレッジ

受講証

申込開始日	定員 50名	対象 高校生、大学生、社会人
8月15日	受講料 無料	会場 研修室A、C

## 情報文化の新しい課題

情報が瞬時に飛び交う現代社会においては、自ら問題を発見し、情報を収集・分析・発信する力が求められています。本講座では具体的なITコミュニケーションや様々な社会的課題について学びながら、社会を元気にするための方法を考えます。

### ① 9月21日(土) <10:30~12:00> 教授 沢田善太郎

#### ■ 社会ネットワーク研究が見つけたこと

研修室C

ある人がどんな社会的ネットワークをもっているか、社会ネットワークのなかでどんな場所に位置しているか等々は、その人の知識や行動、さらにはその人の社会的影響力などを左右する要因になります。この授業では、これまでの社会ネットワーク研究のいろいろな発見を紹介し、社会ネットワークの意外な働きについて考えてみたいと思います。

### ② 9月28日(土) <10:30~12:00> 准教授 藤本 風明

#### ■ 福祉社会の実現に福祉文化とコミュニケーションから接近する

研修室A

人は誰でもがひとりでは生きてはいけません。時には誰かに頼り、時には誰かにお世話になり、暮らしていけるものです。人と人とを繋ぐのはコミュニケーションでありネットワークです。これらが形成されれば、生きづらさ、暮らしぶらさのある障害のある人達や高齢期にある人達なども、地域社会でより豊かに生きていくことができ、そこには福祉という文化が息づくのです。福祉社会の実現、特に地域福祉にコミュニケーションというテーマから接近します。

### ③ 10月5日(土) <10:30~12:00> 准教授 崔 博憲

#### ■ マイノリティとアイデンティティ

研修室A

マイノリティとは、一般的には少数派の人びとを指す呼称です。ここではグローバル化する現代の日本やアジアのなかで、マイノリティを生きるとはどのようなことであるのかを当事者の視点を大切にしながら考えてみたいと思います。

### ④ 10月12日(土) <10:30~12:00> 講師 兼田 貴子

#### ■ 映像のこれまでとこれから

研修室A

映像が誕生してから約120年。今、現代に生きる私たちはたくさんの「映像」に囲まれて生活を送っています。映像が私たちに果たす役割とは、映像を通じて私たちはどのように繋がっているのか、「これまで」と「これから」を考えてみます。

### ⑤ 10月19日(土) <10:30~12:00> 准教授 谷口 重徳

#### ■ 広島のサブカルチャーを支えるコミュニケーションの広がり

研修室A

アニメやマンガ、ゲームなどの分野は、かつてはサブカルチャーと呼ばれていました。近年ではこれらの愛好者の活動が活発になっており、広島でも世代を超えてたくさんの人々に親しまれるようになっていきます。

### ⑥ 10月26日(土) <10:30~12:00> 教授 伏見 清香

#### ■ コミュニケーションデザインは人と社会を繋ぐ共通言語

研修室C

繋がりを重視する現代の日本！コミュニケーションデザインは、人と人、人を社会、世界へと繋ぐグローバルなコミュニケーションツールです。生活に取り入れたいデザインについて一緒に考えてみませんか？

# 広島国際大学

ひろしまカレッジ

受講証

申込開始日	定員 50名	対象 社会人
8月15日	受講料 無料	会場 研修室C

## 誰もが自分らしく生きられる社会へ

誰でも高齢になると様々な衰えてきますが、多くの人は最後まで自分らしく生きたいのではないのでしょうか。障がいのある人も同様でしょう。高齢者や障がいの特性を知り、社会に受け入れるためにサポートする技術「リハビリテーション工学」広島国際大学の取り組みの一端を、わかりやすく解説します。

### ① 9月21日(土) <13:00~14:30> 教授 石原 恵子

#### ■ 元気の源は「できそう」「できた！」「また、やりたい！」

認知症の原因や治療は様々な提案されていますが、ここでは短期記憶や認知機能の訓練をしながら不安を軽減し、ポジティブな感情を育てるよう開発してきたゲームについて、高齢の方やリハビリ中の方が使ってくださった例を交えながら紹介します。

### ② 9月28日(土) <13:00~14:30> 教授 岩城 達也

#### ■ 障がいの生活をサポートするサイボーグ技術の進歩

身体の情報、とりわけ脳の情報を活用したサイボーグ技術の研究開発が進んできました。この講義ではブレイン・マシン・インターフェースを用いた簡単な技術体験を行うとともに、世の中で開発されているサイボーグ技術を紹介します。

### ③ 10月5日(土) <13:00~14:30> 教授 茂木 定之

#### ■ これのできる床ずれケア

病院だけでなく在宅など身近なところで、誰にでも発生する可能性のある床ずれ。大変な病気、予防も治療もできない病気と思いませんか。ポイントを押さえれば、誰にでも出来ます。そのポイントをわかりやすくお話ししたいと思います。

### ④ 10月12日(土) <13:00~14:30> 教授 坊岡 正之

#### ■ 障がいのある児童・生徒の学びについて（学習環境の整備）

自閉傾向、知的障がい、肢体不自由、聴覚・視覚と児童・生徒の障がいは多岐に渡ります。特別支援学校・特別支援学級・普通校や大学においても彼らの学習環境の整備が重要な課題となります。この講義では、学習環境の整備における配慮すべき点等を概説します。

### ⑤ 10月19日(土) <13:00~14:30> 教授 坊岡 正之

#### ■ 障がいのある児童・生徒の学びについて（支援技術の活用）

障がいのある児童・生徒を対象に学習環境の整備を行うためには、リハビリテーション工学に基づく支援技術の活用が必要です。この講義では、特別支援学校での教材・教具の開発事例や、IT技術による授業支援の具体例から、教育現場での取り組みを紹介します。

# 広島文教女子大学

ひろしまカレッジ

受講証

申込開始日	定員	60名	対象	社会人
8月15日	受講料	無料	会場	研修室C

## 現代の子どもの育ちについて考える

### ① 9月28日(土) <10:00~11:30> 教授 塚村 英幸

#### ■子どもの権利保障と育ち

子どもの「育ち」には、保護者や大人の関わりが適切であることが大切です。そのためには、まず子どもの権利が守られて、安心と安全の中で家庭的な生活が営まれる必要があります。これらについて学習を深めたいと思います。

### ② 10月5日(土) <10:00~11:30> 教授 李木 明德

#### ■気になる子どもの理解と支援

「気になる子ども」とは、どのような子どもでしょうか？近年、子どもたちが参加するさまざまな集団で、発達に何らかの特性が強みられる子どもを目にすることが多くなってきました。このような子どもが持っている特性とはどのようなものなのでしょうか。また、私たち大人は、どのように理解していったらよいのでしょうか。講義では、これらの点について説明していきます。

### ③ 10月12日(土) <10:00~11:30> 教授 鈴木 秀規

#### ■子どもの健康とアレルギー

近年、社会の環境変化に伴って子どものライフスタイルや食習慣も変化し、子どもの健全な成長・発達に大きな影響を与えています。今回の講座では、子どもの健康上の問題の中でも第1番に挙げられているアレルギーの問題を探り上げ、アレルギーとはどんなものか、どのように対処するのが良いのかなどについて考えてみたいと思います。

### ④ 10月19日(土) <10:00~11:30> 教授 竹内 育子

#### ■子どもの健康と食生活 ~たのしく食育を~

子どもの心身の健全な発育には、毎日の食生活が大きく関わり、適切な食習慣を子どもの時から育むことは、生涯にわたる健康の保持増進のために大切です。そこで、おいしく食べる子どもの健全な成長をめざして、楽しい食育のすすめ方についてお話します。

# CITY COLLEGE 2013

## 申込方法

- 電話、ファックス、来所でお申し込みください。  
(受付時間：月～金(祝日、8月6日を除く。)) 8時半から17時15分まで。  
来所の場合は9時半から)  
※郵送(はがき等)による申し込みは受け付けておりません。  
①希望講座名もしくは大学名 ②氏名(ふりがな) ③住所  
④連絡先(電話番号・ファックス番号等)をお知らせください。  
なお、申し込みの際にお寄せいただいた個人情報については、各大学・教育ネットワーク中国と共有しますが、事業運営以外の目的には使用しません。
- 各講座とも全回参加を前提に受け付けております。
- 申込開始日が講座によって異なりますので、ご確認ください。  
(申込開始日までは受付できません。)
- 各講座ともに先着順で受け付けます。定員になり次第、締め切ります。

## 受講上のお知らせ

- 受講当日の開場・受付は、各講座開始30分前からです。
- 広島市まちづくり市民交流プラザの開館は9時半からです。
- 受講当日の大雨や台風などの気象状況により、講座を中止する場合があります。

## 申込・問合せ

財団法人広島市未来都市創造財団ひと・まちネットワーク部管理課  
電話082-541-5335 FAX082-541-5611  
〒730-0036 広島市中区袋町6番36号(広島市まちづくり市民交流プラザ北棟5階)  
※土曜日・日曜日・祝日・8月6日・年末年始は閉所しています。

## ◆後期講座(10月以降開講)のお知らせ(予告)◆ (50音順)

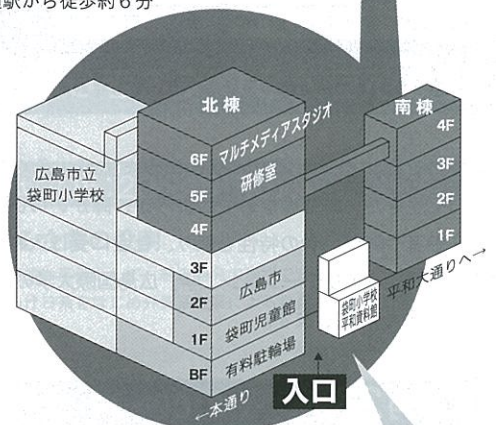
大学名	講座名	回数
近畿大学工学部	異文化を知る英会話	5
県立広島大学	方言から見えてくること	6
鈴峯女子短期大学	文化交流の中のジェンダー	3
比治山大学	詩の歴史を学ぶ	4
広島経済大学	安心快適生活を望む情報キャッチを目指して	5
広島工業大学	情報が支える未来	4
広島市立大学	国際・情報・芸術から見たネットワークの魅力(仮)	4

※講座名・回数は変更となる場合があります。後期パンフレットは8月中旬に発行予定です。

## シティカレッジ会場



※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。  
※自転車・バイクの方は、地下に公共駐輪場(有料)がございます。  
【電車】袋町電停から徒歩約3分  
【バス】袋町バス停から徒歩約3分  
【アストラムライン】本通駅から徒歩約6分



北棟1階エレベーターをご利用ください。  
研修室は北棟5階、マルチメディアスタジオは北棟6階です。